

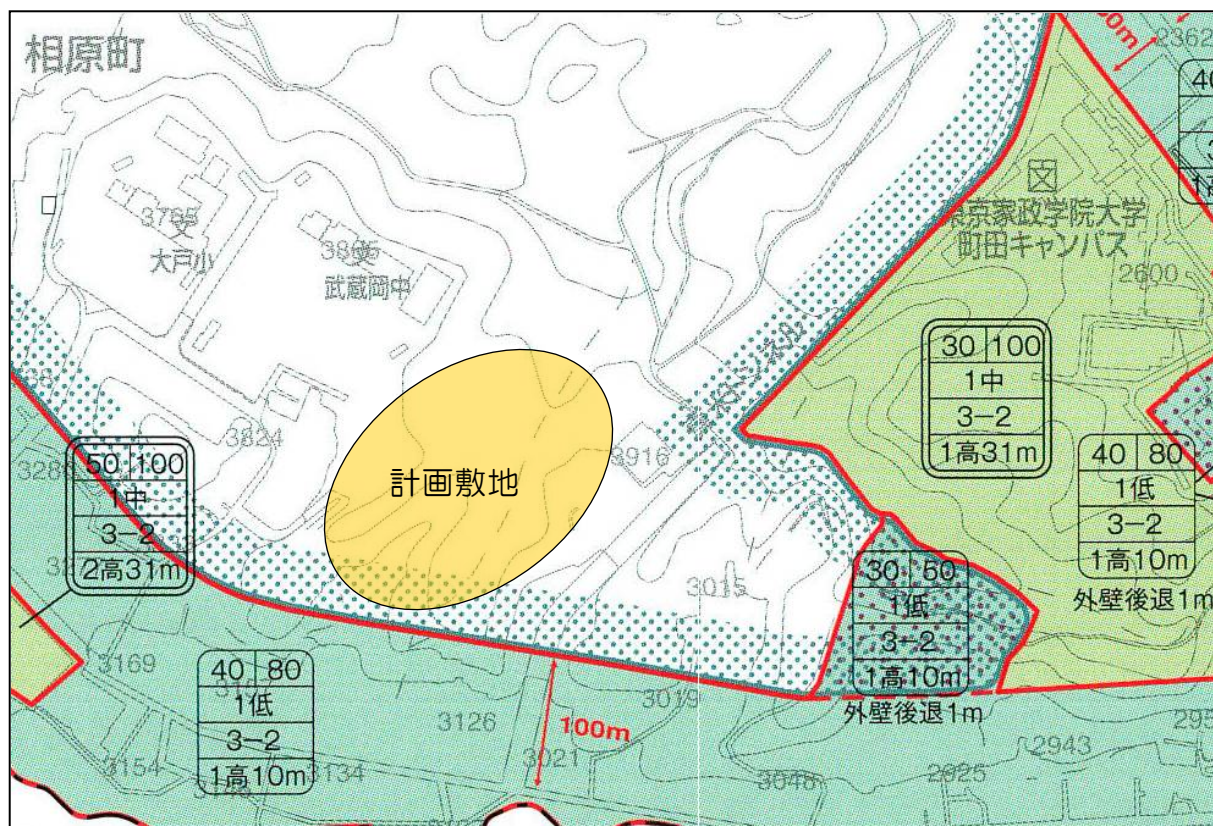
● 資源ごみ処理施設の機能・規模・配置の考え方（案）

1. 相原地区資源ごみ処理施設 整備計画の考え方

(1) 建築計画に対する制約条件

・相原地区に係る都市計画上の規制は、以下の通りです。

所在地	町田市相原 3 8 8 1
敷地面積	約 14,000 m ² (図測による推定値であり、実測測量は未了です。)
地域地区	市街化調整区域
容積率	80% (約 11,200 m ² 程度まで)
建ぺい率	40% (約 5,600 m ² 程度まで)
日影規制	市街化調整区域、第一種高度地区で検討するよう、 お願いされている区域です。
道路斜線	∠ 1. 5
隣地斜線	20m + ∠ 1. 25
都市施設	ごみ処理施設として今後都市計画決定を行う予定です



(2) 取り扱う資源ごみの品目と施設の処理能力

- 基本計画検討委員会の結果をうけて、相原地区と上小山田地区で同機能・同規模の処理能力を有する施設を建設することを計画しています。ただし、今後、新たな収集運搬体制等の見直しや、敷地条件により、処理能力の配分や処理品目の振り分けを見直す可能性もあります。

※ 有害
相原地区資源ごみ処理施設 上小山田地区資源ごみ処理施設

プラスチック ビン・カン ペットボトル トレイ・紙パック 有害ごみ 製品プラスチック 使用済小型電子機器	プラスチック ビン・カン ペットボトル トレイ・紙パック 有害ごみ 製品プラスチック 使用済小型電子機器
--	--



管、ライター、水銀体温計を指します。

【基本計画検討委員会報告書に記載している各資源ごみ処理施設の処理品目】

- 相原地区資源ごみ処理施設の処理能力を以下の通り想定します。

施設の種類	施設規模 (トン/日)
容器包装プラスチック圧縮梱包施設	26.4
カン選別処理施設	6.4
ビン選別処理施設	18.8
ペットボトル圧縮梱包施設	5.8

【基本計画検討委員会報告書に記載した処理能力】
(相原と上小山田とリレーセンターみなみの合計)

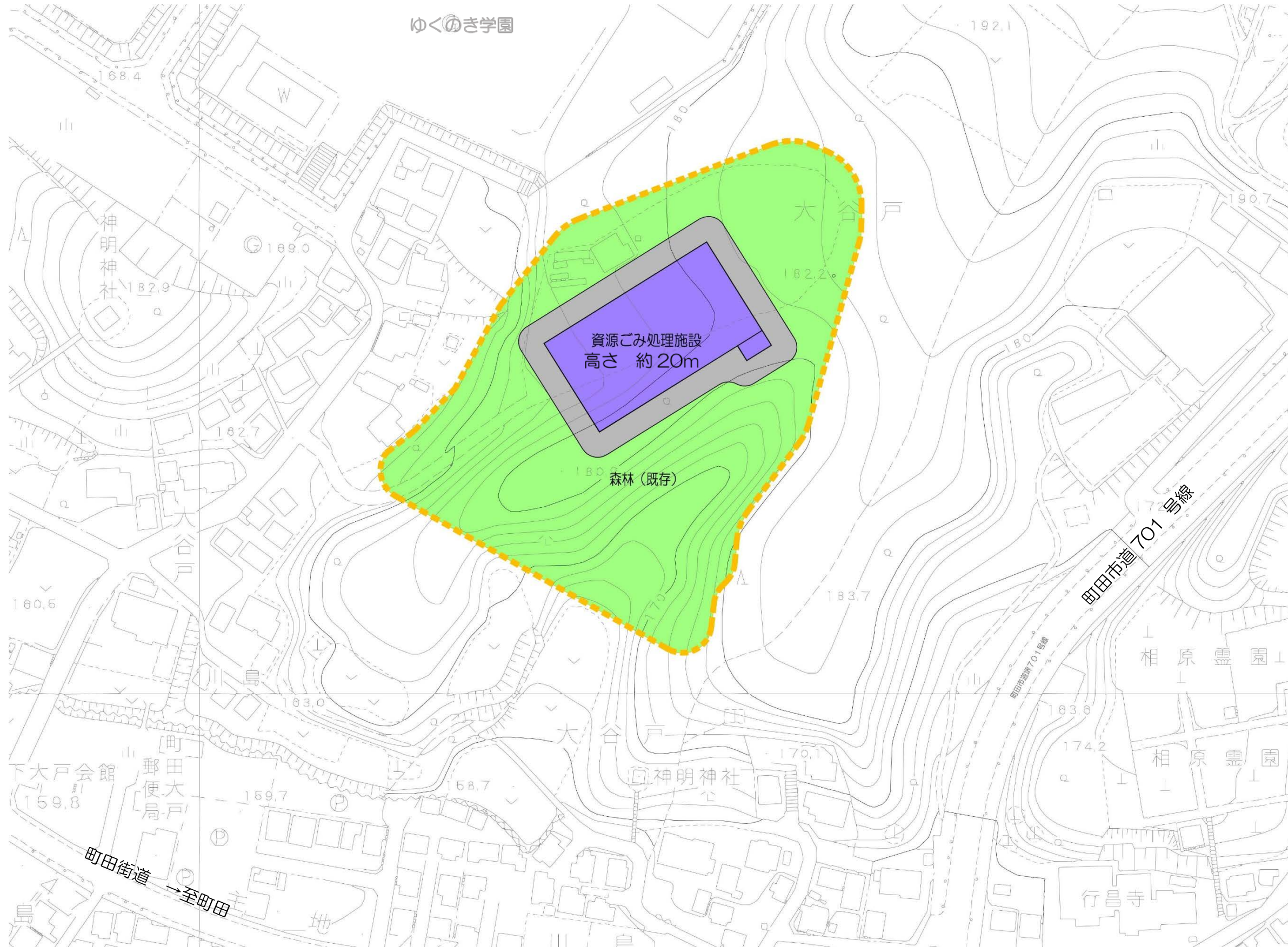
↓ ÷ 2

【相原地区資源ごみ処理施設の規模想定値】

施設の種類	施設規模 (トン/日)
容器包装プラスチック圧縮梱包施設	10.7
カン選別処理施設	3.2
ビン選別処理施設	9.4
ペットボトル圧縮梱包施設	2.9

※容器包装プラスチック圧縮梱包施設については、リレーセンターみなみで予定している約5tの処理能力を差し引いて等分をしています。

● 配置計画の概要



(3) 施設の規模

平面の規模	約 2,000 m ² ～約 3,000 m ² (約 40m×約 70m程度)
高さ	約 20m

(4) 環境保全対策

敷地周辺の環境に配慮し、次の点に留意しながら計画を検討します。

① 騒音対策

- ・騒音源となる資源ごみの搬入場所は、敷地西側に住宅街が、敷地北西側に学校が立地していることを考慮して、これらに対しできる限り離隔距離を確保した計画を検討します。
- ・最も騒音が発生しやすい荷おろし作業を含め、原則、全ての作業を建屋内で行う計画とし、できる限り外部に騒音が漏れないよう配慮します。

② 振動対策

- ・収取車両の走行や施設内部に配置する機械による、周辺への振動の影響を抑えるため、進入路の位置や、機械の設置場所および設置方法に配慮します。

③ 悪臭対策

- ・ストックヤードを含め、原則、全ての作業を建屋内で行う計画とし、極力、敷地外に悪臭が漏洩しないよう配慮します。

④ その他、自然環境への配慮等

- ・極力、既存の森林を活かした計画とします。
- ・敷地周辺部分についても、積極的に緑化を行う予定です。